

新春特集展示 うまづくし—干支を愛でる—

2025年12月16日(火)～2026年1月25日(日)
京都国立博物館 平成知新館(2F-1～3 展示室)

2026年の干支は午（馬）ですね。みなさんは馬を近くで見たことがありますか？今は見る機会が減りましたが、昔は、馬は人の身近にいる生き物でした。人を乗せて走ったり、重たい荷物を運んだり、さまざまな力仕事をしていました。馬は人を助けてくれるだけでなく、堂々として優雅な姿をしているので、昔から人々の心をひきつけてきました。

武将たちが憧れたカッコいい馬や、馬を飾った馬具、行事やスポーツで活躍する馬、神様にささげられた馬など、この展示では、馬に関係するさまざまな文化財をご紹介します。

ファミリー向け企画として、やさしい解説文（小学校高学年～）と、作品を見るのが楽しくなるワークシート（小学校低学年～）をご用意しています。ワークシートを片手に、どんな馬たちがいるか探してみてください。

重要文化財 駿馬図 景徐周麟賛
京都国立博物館蔵重要美術品 三彩馬俑
京都国立博物館蔵賀茂競馬文様小袖
京都国立博物館蔵

【開館時間】午前9時30分～午後5時 ＊金曜は午後8時まで開館 ＊入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

＊本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

＊高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。

＊障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

＊キャンパスメンバーズ(含教職員)は、学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】月曜日、12月29日(月)～2026年1月1日(木・祝)

＊ただし、1月12日(月・祝)は開館し、1月13日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527
press_kyohaku@nich.go.jp

特集展示 光琳かるたと小西家伝来 尾形光琳関係資料

2025年12月16日(火)～2026年2月1日(日) 京都国立博物館 平成知新館(2F-4・5 展示室)

当館には「小西家伝来尾形光琳関係資料」と呼ばれる資料群が所蔵されています。これは、尾形光琳(1658～1716)の子、寿市郎が養子に入った小西家に伝来したもので、光琳の生家である呉服商雁金屋に関わる文書のほか、光琳の画稿や図案類も多数含まれており、公私にわたる光琳の情報を知ることができる、きわめて貴重な資料群です。この度、光琳が手掛けた小倉百人一首かるたとして名高い「小倉百人一首歌留多」が新たに当館の寄託となったことを機に、**この光琳かるたと、その画稿を含む光琳関係資料をあわせて展示し、光琳芸術の基層とも言うべきこれらの資料の魅力と重要性を紹介します。**

当館公式キャラクター・トラりんのもとである尾形光琳筆「竹虎図」(京都国立博物館)もあわせて展示します。



小倉百人一首歌留多
尾形光琳筆



竹虎図 尾形光琳筆
京都国立博物館蔵

【開館時間】午前9時30分～午後5時 *金曜は午後8時まで開館 *入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。

*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】月曜日、12月29日(月)～2026年1月1日(木・祝)

*ただし、1月12日(月・祝)は開館し、1月13日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527

press_kyohaku@nich.go.jp